



(2022年4月27日付・下野新聞23面)

中学生向け 年組

再生エネ導入可能量試算

【宇都宮】宇都宮大の学生とNPO法人うつのみや環境行動フォーラムは26日までに、市内の再生可能エネルギーの導入可能量(ポテンシャル)を調べた報告書をまとめた。小水力発電の導入が進めば、市全体のエネルギー需要量の120%以上を賄える可能性があるとして、さらなる導入を提言。「持続可能なエネルギーへの転換を考えるきっかけになれば」と、28日に同大で開く市民向け公開セミナーで報告する。(亀井勝)

宇都宮大生とNPO あす報告

報告書のタイトルは「宇都宮の持続可能なエネルギー」驚きの再生可能エネルギーのポテンシャル」。昨年から同大国際学部の地球環境政策論・環境と国際協力研究室の学生21人が、同法人再生可能エネルギー部会の専門家5人の指導を受けながら、国や市のデータを基に調査した。市全体のエネルギー需要量

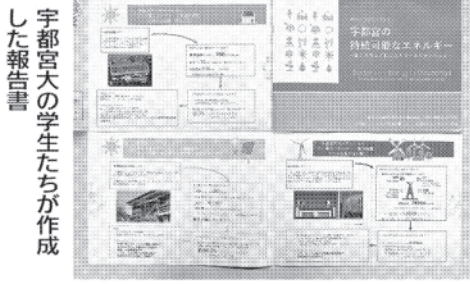
「小水力」市需要の120%超



提言した。太陽の熱を直接集めて給湯や暖房に利用する太陽熱利用システムについても、補助金や新築住宅への設置義務化などを求めている。同大で地球環境政策論などを指導する高橋若菜教授(50)は「取り上げた事例や学生た

ちの提言には、革新的なアイデアがちりばめられています」と話している。報告書は、市内図書館や地区市民センターなどで閲覧できる。公開セミナーは午後0時40分から、峰キャンパスで開催。定員50人で、申し込みが必要。入場無料。問同大多文化公共圏センター1028・649・5228(平日午前10時〜午後4時)。

公開セミナーに向け準備する学生たち



宇都宮大の学生たちが作成した報告書

設問

【1】本文中で使われている次の単語の読み方を答えましょう。

- ①賄える ②需要 ③給湯 ④閲覧

【2】報告書のタイトルが「宇都宮の持続可能なエネルギー」となっているが、この「持続可能」というキーワードは、国連で採択された「持続可能な開発目標」からきていると考えられます。「持続可能な開発目標」を表す、アルファベット4字の言葉を答えよう。

【3】市民向けセミナーは、何月何日、何時から、どこで開かれるか、情報をまとめてみよう(この記事の掲載は4月27日でした)。

【4】この記事から分かる情報として正しいものには○を、間違っているものには×を書きましょう。

- ・ア 宇都宮市が必要とされるエネルギー量の1.2倍のエネルギーを、小水力発電で生み出せるかもしれない。
- ・イ 話題の報告書は、宇都宮大学の再生可能エネルギー部会の専門家5人が指導をし、宇都宮大学国際学部の学生21人が調査をした結果をまとめたものである。
- ・ウ 現在、宇都宮市内で小水力発電が盛んでないのは、小水力発電の可能な川が、釜川以外に存在しないからだ。
- ・エ 市内で小水力発電の導入を進めるには、法規制を簡素化したり、行政による支援策を整備したりする必要がある。
- ・オ 小水力発電がもっともポテンシャルが高いという試算が出たので、報告書では、太陽熱利用システムの導入に関する提言はされていなかった。
- ・カ 再生可能エネルギーの導入は市の重要課題の一つであり、市としても公開セミナーが「持続可能なエネルギーへの転換を考えるきっかけになれば」と考えている。